

ニューズレター

Special
Olympics
Nippon
Iwate



スマイル

No. 3

スペシャルオリンピックス日本・岩手

発行日：2015年5月

発行：スペシャルオリンピックス日本・岩手

事務局：盛岡市紺屋町4-24

小野寺 弘純

TEL：019-653-1644

FAX：019-653-1644

E-mail：son_iwate@son.or.jp

祝スペシャルオリンピックス日本・岩手 設立記念号



スペシャルオリンピックス日本・岩手 認証式／設立記念祝賀会

2015年4月5日

於：メトロポリタン盛岡

設立総会

2015年3月22日（日）13時～ ふれあいランド岩手のふれあいホールにて「2015年度総会・スペシャルオリンピックス日本・岩手設立総会」が行われました。2014年度の活動・決算報告、2015年度の活動計画・予算の審議が為されました。また地区組織設立に伴う「組織の規約、役員選任、各規定等」の重要議案の審議及び承認が為された。依って当日（平成27年3月22日）を以て、スペシャルオリンピックス日本・岩手は設立されました。

スペシャルオリンピックス日本・岩手

<挨拶> 会長 平野 ユキ子

本日いよいよ、スペシャルオリンピックス日本・岩手の設立の日を迎えました。これまで様々な方々にご尽力頂きましたが、特に事務局となって頑張ってくださった阿部さん、今頑張ってくださっている小野寺さん、赤坂さんに心から御礼申し上げます。また、ボランティアやご寄付でご支援下さいました、沢山のサポーターの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。4月5日（日）の認証式・設立記念祝賀会は、この晴れやかな気持ちを皆様と共に分かち合い盛大にお祝いしたいと思います。なるべく多くのアスリート・ファミリーにご参加下さいますようお願い申し上げます。これからもよろしくお願い致します。



<2014年夏季ナショナルゲーム参加報告>



昨年11月に行われた夏季ナショナルゲーム in 福岡に参加したバスケットボール競技のコーチとアスリートの菊池皓瑛さんが、写真スライドを見ながら報告してくれました。



スペシャルオリンピックス日本 会長
「大切にしてきたもの」 三井 嬉子

私は熊本でのスペシャルオリンピックスの始動と同時に東京で活動を始めています。昨年スペシャルオリンピックス日本もちょうど設立20周年を迎えました、スタートした時からこれだけは守りたい、大事にしたい事柄が3つあります。1つ目は会計です。透明性を持って厳しく対処してきました。2つ目は安全性です。障がいのあるアスリートにスポーツを提供する団体であるので、細心の注意をはらった活動をしなければならない。安全対策委員会を作って、全てのプログラムでヒヤットとしたこと、ドキッとしたことの事例集を集めて大きな事故や怪我なる前に未然に対処する事をこころがけました。3つ目は活動を長く続けていくには経営的感覚をもつということです。リーダーは才気よりも人間性、「無私の人」であることです。事業を成功させ続けるためには、心を高め、徳のある人格を築き上げていかななくてはならないと思ってきました。

岩手は行政、経済、教育、医療、ボランティア、主婦と様々な団体に集まって頂いて、バランスのとれた良い形でのスタートだと喜んでいきます。厳しい自然の中で誠実な人柄を育ててきた岩手の皆さんと一緒に活動は、間違いなく大きく育っていくことと確信しています。アスリートだけでなく関わっていく全ての人、価値観や人生観を大きく変えていき、ますます発展していくことをお祈り致します。

本日はスペシャルオリンピックス日本・岩手の設立おめでとうございます。

2005年から活動を続け、数々の競技会に選手を送り出しながら、そして地区組織になるための全ての条件を整えて行くことは並大抵の努力ではなかったとお察し致します。

特に東日本大震災を経験なさった中で、そのまま悲劇、辛さで終わらせず、こうして大きな一歩を踏み出されたことを本当に敬意をもって心からお祝いを申し上げます。



スペシャルオリンピックス日本 理事長
「チャンスの提供」 有森 裕子

スポーツ(SO)という手段を通じて、アスリートは持っている才能や可能性を引き出せるきっかけになるかもしれません。持っている障害の度合いによって、出来ることも元気になる度合いもアスリートそれぞれちがってくると思います。しかしSOはそういう道筋やきっかけを作ることの出来るとても大事な活動です。

活動の中で、いろんな気付きや事柄を見いだしながら、お互いが生まれたことに感謝をしたり、人間の能力の凄さを感じたり(常に活動の現場で感じられるように)しながら、最終的には社会にそれらが当たり前のもので受け入れてもらえるような組織になることを願っています。

世界大会もあれば、国内大会、地区大会、毎日の活動プログラムもあります。その中の何でもいいのでチャンスの提供、機会の提供を止めないで下さい。

アスリートの変化を生み出せるはずのチャンスの場を1個たりとも減らさず、生み出し続けてください。私達(チャンスをもらってきた人間)は頑張らなければいけません。自分たちの元気に反映させながらアスリートと共にますます元気になっていけたらいいと思います。

スペシャルオリンピックス日本・岩手がこのような素晴らしい方々に囲まれ支えられ立ち上がったこと、これまでご尽力頂いたすべての方々へ感謝申し上げます。私自身もSONの理事長の立場で沢山のことに気づかせてもらいました。これからも共に頑張りましょう。よろしくお祈り致します。

本日はスペシャルオリンピックス日本・岩手の認証及び設立、本当におめでとうございます。

私は2001年東京ナショナルゲームのドリームサポーターのお役目を頂いてから今日までアスリートであるスポーツ選手に応援を送り続けています。

私の実家の近くに障がい者施設があったこともあって、幼い時より不自由な人(障がいの有無にかかわらず)には出来る人が手を貸す、手伝うことが当たり前なこととして捉えてきました。SOのお話を伺った時に、それまで知的障害者はスポーツをさせてもらう機会がなかったのですが、それを支援する組織があるという存在にびっくりしました。私は股関節脱臼で生まれ、自信の無かった自分をスポーツが元気に自信を持たせてくれました。私達は沢山のチャンスを当たり前にもらって、今の活躍出来る人間になっています。



本日は、岩手県知事達増拓也様をはじめとして、SON本部から三井会長、有森理事長のご来駕を仰ぎ、そして多くのご来賓の皆様にご臨席頂き、SON・岩手の認証式・設立記念祝賀会を開催出来ましたことは大きな喜びであり、心から感謝申し上げます。

SON(スペシャルオリンピックス日本)は、アメリカに本部SOI(国際スペシャルオリンピックス)を置く国際組織の日本本部です。スペシャルオリンピックスとは、知的障がい者の為にスポーツの場を提供し、知的障がい者に社会参画を促すことを目的に、現在は世界中170か国以上で活動しています。アメリカの故ケネディ大統領の妹、ユニス・ケネディ・シュライバーさんが始めたこの活動はたちまち全米に広がり世界に広がりました。アメリカでの知名度はパラリンピック(71.1%)より高い(94.0%)のです。現駐日大使のキャロライン氏は、ユニスさんの姪にあたります。IOC(国際オリンピック委員会)から正式にオリンピックという名称の使用を認められオリンピック同様4年に一度、夏季・冬季の国際大会が開催され優秀者には金、銀、銅メダルが授与されます。今年は夏季世界大会の年でアメリカのロサンゼルスで開催されオバマ大統領は名誉総裁に就任しています。

SOは知的障害者に社会参画を促すことが目的ですから、大会参加が最終目標ではなく、実は日常のスポーツプログラムが最も重視されます。オリンピック(s)と複数形になっているのは、いつでも世界中のどこかでスポーツの場が提供されているという事を示しています。

岩手は、SON岩手設立準備委員会として10年程前にスタートしました。正式な地区組織設立をめざし努力を重ねて参りましたが、その間に「東日本大震災」が勃発。沿岸のアスリート(SOでは障害者をこう呼びます)や関係者には家を流された人々がいて、更に施設も流されスポーツどころではなくなり、知的障がい者にとっては特に過酷な状況が続きました。まだ沿岸は完璧に復興したわけではありませんが、震災を乗り越えて本日、晴れの式典の日を迎えることが出来ましたのは、ひとえに皆様のお陰と心から感謝申し上げます。

アスリートの居住する岩手県、及び市、町に本日の式典のご案内したところ、知事を始め 陸前高田、大船渡、釜石、遠野、盛岡、滝沢、矢巾の各市長、町長がご出席くださいました。また、アスリートにとって医療のバックアップは欠かせない点から岩手の医療代表として岩手医大の小川理事長兼学長にお声をかけましたところ、お忙しい中駆けつけてくださいました。みなさま本当にありがとうございます。

SOは、他の障がい者団体と違い、公的補助金を受けていません。活動はすべて民間の企業、個人の寄付で賄われています。寄付を集めるのは大変なことです、ひとつ良いことがあります。それはご寄付・ご支援下さる方の顔が見えることです。今日この場に来て下さった方々の暖かい善意の気持ちが伝わって参ります。

国では、障がい者スポーツが厚労省から文科省へと移りました。文科省に新しく設置された「障がい者スポーツ推進室」では、SONに平成27年度、3,600万円弱の予算が付きまして(今年アメリカのロサンゼルスで開催の国際大会の日本代表派遣措置)。国も障がい者スポーツに、より本腰を入れてきています。これに伴って地方行政も保健福祉部は教育委員会と密接に連携をとらなければいけない状況になってきています。先ほど公的資金は受けていないと申し上げましたが、ただかないと言うことではありません(笑)。地方行政でも予算措置をして頂けるのであれば是非ともよろしくお願い致します(笑)。

インクルージョンの社会。それはSONの目指す社会です。障がいのある人も無い人も尊敬できる社会の一員として共に暮らしていく社会です。知的障害者は何時の時代も2%は生まれるそうです。何故か...?「それは神が必要と認めたからだ...。」と言う説があります。私はこの説を支持します。彼らは社会に必要な存在なのです! アスリート達とふれあっていると、心が洗われ、大きな感動をもらいます。皆様もボランティアをしてみてください。競争社会の中で忘れていた大切なものを思い起こします。アスリート達は社会の浄化になくてはならない存在です。

私のビジョンの1つ、地区組織になるという夢は本日叶いました。次のビジョンは「冬季国内大会を岩手に誘致する」ということです。実は東北では宮城・山形・福島が既に冬期国内大会を開催しています。国内大会には全国からアスリートやボランティアが何千人と集まってきます。岩手にとっては経済効果も期待できます。なによりも岩手で開催されることで私達の自信にもつながります。今日の式典はひとつの節目ではありますが、ゴールではなく新しいスタート、歩みの始まりです。

皆様、どうぞ変わらぬ暖かなご支援を今後ともよろしくお願い致します。最後に皆様の暖かな気持ちに「本当に、本当に、ありがとうございます。」と御礼申し上げます。私からのご挨拶と致します。

認証式／設立記念祝賀会

2015年4月5日(日)メトロポリタン盛岡本館4Fで、スペシャルオリンピックス日本・岩手の認証式／設立記念祝賀会が行われ、大勢のご来賓及びサポーターが参加し、総勢193名の参加者で盛大に行われました。

認証式



協定書の調印・・・有森裕子SON理事長、平野ユキ子SON・岩手会長

設立の趣旨説明と経過報告

SON・岩手事務局長
小野寺 弘純



司会：
北條真由美さん



認証状及びSO旗の授与・・・有森裕子SON理事長、平野ユキ子SON・岩手会長、アスリート岡田響、草薨陵太

* 本紙2、3ページで紹介しました3名のご挨拶を認証式で頂戴しました。

設立記念コンサート

特別ゲスト：ヴァイオリン&フルートデュオ「ノブタク」

“タク”こと小柳拓人さんは、1994年生まれ、世田谷区在住。幼少期、多動で奇声を発し言葉の遅れもあった中、唯一音楽に興味を示したことから、5歳よりピアノをはじめ。2009～2012年「国際障害者ピアノフェスティバル」金賞他多数。2013年「ピョンチャンススペシャルミュージックフェスティバル・クラシック部門」第1位。吹奏楽部をきっかけに12歳からはじめたフルートでは、オーケストラ参加やダンスとのコラボを展開。「特異を得意にかえて」と題した講演&コンサートを全国各地で開催。カナダ、台湾、韓国、アメリカでも演奏。ブログ公開中。



共に、平日は会社員、休日はミュージシャンとして、自閉症啓発イベント、荻窪音楽祭、オーティズムミュージシャンコンサート、心の鐘コンサート、ノブタクとその家族たちコンサート、台湾自閉症音楽楽団との共演など多種に出演中。

“ノブ”こと本間惟彦さんは、1993年生まれ、世田谷区在住。幼少から多動、言葉の遅れが目立った中、ヴァイオリンの音色を好んだことから5歳より山口音楽教室センターでヴァイオリン療育を始める。最初はヴァイオリンを支えて立つことから始まったが、左手の指で弦をおさえ、右手で弓を持って駒と並行に弓を雨後各など、多様な動作が増えてゆくとパニックや混乱もあった。あきらめかけると急にクリアしたり、その繰り返しだったが、中学校のころから地元の児童館などで演奏活動を始める。現在はソロだけでなくアンサンブルでも演奏。



演奏プログラム

1. あまちゃん オープニングテーマ
2. 少年時代
3. チャルダッシュ
4. トルコ行進曲
5. 見上げてごらん 夜の星を



花束贈呈

齊藤 有美子(アスリート)
住吉谷 穂佳(〃)
佐々木 尚美(ファミリー)
佐々木 恵子(〃)

設立記念祝賀会

<乾杯> 岩手日報社 社長 東根千万億様

僭越ではございますが、一言ご挨拶申し上げます。三井会長が岩手を憧れの地と言って頂き、これに勝賛辞はないと喜び感動いたしました。また、限界に常に挑戦し続けてきた有森理事長の「可能性を開くチャンスを与える」というメッセージに共感し、考え方に全面的に賛同いたしました。これからもご指導よろしくおねがいします。

全国障害者スポーツ大会の規模、国民の認識は数年前とは全く違ってきています。これはオリンピックにおいてもロンドン五輪から大きく変わりました。おそらくリオ五輪も東京五輪も非常に盛り上がることでしょう。いつか来る3巡目の岩手国体の時には、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、スペシャルオリンピックス日本国内大会の3つがごく普通に同じレベルで(メダルの金・銀・銅も同じ価値として)大会が開催されて欲しいです。そして世界大会もそういう大会になって欲しいと願っています。ただ、これは黙っていても実現しません。本人は勿論そうですが、それを支えるご家族、支援する皆さんのいろいろな普段の努力の積み重ねなくては実現できないと思います。そういう意味におきまして、「今日からこの開かれた未来に向かってこの扉を大きく開け、みんなで力を合わせて頑張ります。」このことをこの場で誓いまして、乾杯の挨拶と致します。



<来賓祝辞> 岩手県知事 達増拓也様



スペシャルオリンピックス日本・岩手認証式・設立記念祝賀会が有森裕子理事長のご臨席を賜り、盛大に開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。またご参会の皆様方には日頃より岩手県の障害福祉政策や障がい者スポーツの推進に多大なるご協力・ご支援を頂いておりますことに、心から感謝申し上げます。東日本大震災から4年たちましたが、岩手県では復興期間の中間点である今年を本格復興邁進年と位置づけて被災者の心と身体健康維持、地方創世や人間本位の施策を柱として、被災者に寄り添いながら強力復興を推し進めています。平成28年第71回希望郷岩手国体と第16回障がい者スポーツ大会希望郷岩手大会「広げよう感動、伝えよう感謝」をスローガンに今準備を進めているところです。県民一丸となりオール岩手で2つの大会を成功に導くことで希望郷岩手の実現を目指したいと思っております。スペシャルオリンピックス日本・岩手が設立されたことは岩手県において障害福祉の理解や障がい者の社会参加がよりいっそう進む契機となるものです。関係者のご尽力に深く敬意を示すと共に今後もさらなるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。今後のご発展をお祈りし、お祝いの言葉と致します。



ノンアルコールのスパークリングにて乾杯

受付の様子



開会のことば 松田亮吾



Let me win.
But if I cannot win, let me be brave in the attempt.
この気持ちをお支えます。

司会: 田口絢子



歓談・会食の様子

希望郷いわて大会の強化選手

水泳: 佐々木嵩知
佐々木陽右
ボウリング: 三島弘太郎



感想・お礼の言葉
佐々木 陽右・菊池 茜



本日は楽しい会になって良かったです。みんな頑張ってください。ありがとうございました。

閉会のことば 志田翔南



これからも水泳を頑張っていきたいと思っております。

来年は希望郷岩手大会に向けて頑張りたいと思っております。



スポーツプログラム 活動発表

スペシャルオリンピックス日本・岩手 認証式/設立



司会・進行: 阿部眞喜子

- 1, 始めの言葉 阿部眞喜子
- 2, SON岩手SP委員長挨拶 岩淵昌文
- 3, 活動発表
- ① トーチラン 吉田廉、吉田富美子
- ② 水泳プログラム
 - ・ふれあいランドの活動 休石周平、休石ナル子
 - ・水泳競技会 菅原稜大、菅原なな子
 - ・水泳コーチクリニック 阿部眞喜子
- ③ ボウリングプログラム
 - ・ボウリング競技会 菅野一馬、菅野里沙
- ④ バスケットボールプログラム
 - ・夏季ナショナルゲーム 阿部眞喜子
- ⑤ 陸上プログラム
 - ・活動内容発表 阿部廉、阿部均
- ⑥ 冬期プログラム
 - ・アルペン 三島史子、三島陽子
 - ・コーチクリニック 岩淵昌文
- ⑦ ゴルフ
 - ・活動内容発表 阿部眞喜子
- ⑧ 気仙ランチ交流会 菊池茜、菊池規子
- ⑨ 盛岡ランチ交流会 佐々木威彰、佐々木さやか
- 4, お礼の言葉(ファミリー) 佐々木さやか、菊池規子、住吉谷文子
- 5, 終わりのことば 阿部眞喜子

<発表者の様子>



吉田富美子: 2004年のトーチランは、大船渡の田村スポーツの奥様からお誘い頂いて参加しました。心配しましたが本人は楽しく走れたようです。輝く場を提供して頂いたことに感謝しています。

休石ナル子: 最初は顔を水につけられなかったり、水に抵抗のあるアスリートが徐々にクロールなど泳げるようになり、成長には目を見はる日々でございます。
休石周平: 頑張ります。

菅原稜大: 僕は水泳が苦手です。水はつめたくてイヤな感じです。大丈夫だと言われてもいやだなあとします。でもプールに入るとだんだん慣れてきてみんなが泳いでいるのを見ると僕も頑張ろうと思います。そしてコーチやお母さん達がほめてくれるのもっと頑張ろうと思います。練習の後のお肉は最高です。去年の水泳競技会は緊張してドキドキしました。

菅野一馬: 練習の時よりいいスコアがでてびっくりしました。楽しかったです。

阿部廉: がんばります

阿部均: 元気なアスリート達は沢山の伸びしろをもっています。コーチ陣は年々体力がなくなってきています。この機会に皆様一緒にボランティアとして参加して下さい。

三島史子: 下倉スキー場では隣の人が急な坂でたおれて怖かったです。ジャンプやリフトに乗ることが楽しかったです。

菊池茜: ボッチャは初めての人も誰でも楽しめるスポーツです。今年ボッチャの活動が始まるので楽しみです。昨年4月13日にボッチャ交流会があり、楽しかったです。

佐々木威彰・さやか: 昨年、コーチボランティアのみなさんとアスリートとファミリーが日頃の感謝を込めて交流会を開きました。

1番...踊るポンポコリンのダンスを踊った。
2番...バーベキューでお肉を食べた。
3番...輪投げとボール運びゲームをした。
どうでしたか?...楽しかったです。



司会、進行: 阿部眞喜子

祝賀会に残念ながら出席出来なかった参加者によって活動プログラムの活動の様子を紹介しました。

バスケットボールは、福岡夏季ナショナルゲームの様子を説明しました。

ゴルフは、昨年初めておこなったプログラムの活動の様子を説明しました。



田口絢子実行委員長

2004年トーチランの時の活動の様子を説明しました。



岩淵昌文SP委員長

ご挨拶とスペシャルオリンピックス日本・岩手のスポーツプログラムについて説明した。



発表スライド写真の一枚
冬期コーチクリニック

岩淵昌文SP委員長

ファミリーよりお礼の言葉

佐々木さやか: 皆様のご協力によってこうして設立することが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

住吉谷文子: 私達はこのスペシャルオリンピックス日本・岩手を大切にしていきたいと思います。ファミリーもアスリートもそれぞれが「自分は何が出来るだろう」「何を頑張れるんだろう」と考えながら一生懸命やっていきたいと思っています。どうぞ皆様温かく見守って下さい。よろしくお祈りします。

菊池規子: これまで多くの皆様から沢山のご支援をいただいて活動する事が出来ました。震災後も変わらずに活動が続けられたのは本当に皆様のおかげだと深く感謝しております。多くの皆様のご支援を今後ともどうぞよろしくお祈りします。



今年1月24日に冬季競技のコーチクリニックとして、アルペンスキーとノーシューイングの2種類の競技についてコーチクリニックを行いました。会場として、八幡平リゾート、下倉スキー場のご協力を頂き、実施いたしました。アルペンスキーは、講師として、東京から岩沼総一郎スポーツトレーナーをお迎えしました。コーチクリニック参加者とアスリート合わせて9名の参加がありました。ノーシューイングでは、山形より根津良伸ローカルトレーナーをお迎えしました。こちらは、コーチクリニック参加者とアスリート合わせて7名の参加がありました。講義では、参加者全員がアルペンとノーシューイング両方の講義を受講することができ、2つの冬季競技について、プログラムの実施や競技についての具体的な知識について学ぶことができました。午後からは、それぞれの競技に分かれて実技が行われ、時間が足りないほど有意義なクリニックとなりました。来年2月には、冬季ナショナルゲーム新潟大会が行われます。この新潟大会への参加に向けてアスリートと一緒に頑張っていきたいと思っております。

ノブタクと一緒に全員合唱

スペシャルオリンピックス日本・岩手 認証式/設立記念祝賀会



Believe ♪

たとえば君が 傷ついて
くじけそうになった時は
かならずぼくが そばにいて
ささえてあげるよ その肩を

世界中の 希望のせて
この地球は まわってる

いま未来の 扉を開けるとき
悲しみや 苦しみが
何時の日か 喜びに変わるのだろ
I believe in future
信じてる



閉会後の団欒、一緒に(^_^)v



設立お祝い電報を頂戴しました。
ありがとうございます

設立お祝いの寄付を頂戴しました。
ありがとうございます

SON・岩手ご設立、誠にありがとうございます。
500万人トーチランから10年、さぞかし感慨無量のことと拝察致します。
岩手においてSO活動がますます普及・発展する事を心よりお祈り申し上げます。
SON・東京 スポーツトレーナー岩沼 聡一朗様

NPO法人YOGA連盟理事長 宇部 実智子様
のびっこ療育センター 鏡 雅子様
(株)岩手朝日テレビ 代表取締役社長 富永 健治様
国際ロータリー第2520地区パストガハナー 田口 良一様
(株)エフエム岩手 代表取締役社長 村田 憲正様
(株)岩手めんこいテレビ 代表取締役社長 佐藤 滋樹様
サポーター 吉成 重雄様
サポーター 鍋 由喜子様
(順不同)

以下、電報を頂いた方の団体名・お名前の記載で失礼いたします。

遠野市市長 本田 敏秋様
(株)岩手めんこいテレビ 代表取締役社長 佐藤 滋樹様
(株)岩手朝日テレビ 代表取締役社長 富永 健治様
(株)テレビ岩手 代表取締役社長 檜崎 憲二様
上智大学 柔道部OB会 会長 長島 信之様
ホテルメトロポリタン盛岡 代表取締役社長 大見山 俊雄様
スペシャルオリンピックス日本・秋田 会長 西村 紀一郎様
スペシャルオリンピックス日本・福島 会長 佐久間 啓様
(順不同)



※ チャリティTシャツ一口2,000円にも沢山のご寄付を頂きました。ありがとうございます。

* スペシャルオリンピックス日本・岩手をご支援頂いている皆様 (H24年1月~H25年3月受付分) *

岩手トヨペット(株), オーエム通商(株), ソニー生命, 吉田 等明様
島田 邦守様, 岩館電気(株), (株)高光建設, 富士ゼロックス岩手(株)
みちのくコカコーラボトリング(株), 八幡自動車(株), 高橋秀明様
吉村 彰悟様, 吉村 智恵様, 鍋 由喜子様, 村山 和之様, 吉田 几生様, 田口 良一様
(株)クリエイト, (株)キムラ, 盛岡ガス(株), 佐々木 和一郎様, 坂下 陽一様, 及川 敦様

心より感謝申し上げます

※この度、スペシャルオリンピックス日本・岩手の設立という節目を迎え、4年前の東日本大震災で被災者義援金を頂戴した方々を改めてここにご紹介させて頂き、感謝の気持ちをお伝え致します。

米澤 利次様	村松 昌純様(水曜会)	小澤 久恵様
黒澤 慧弥様	高橋 秀明様 "	上智大学柔道部OB有志一同様
富塚 ツヤ子様	鈴木 武夫様 "	伊藤 雅美様・大貴様
吉村 彰悟様	末永 智子様 "	大隅 サイ子様
黒澤 慈子様	岡村 睦夫様 "	藤原 澄子様
佐藤 由美子様	堀 進様 "	松崎 たか子様
高橋 精一様	渋谷 進様 "	山蔭 由美子様
東海林法律事務所様	中村 俊一様 "	平賀 健一様・敦様
濱岡 正己様	岩田 真理子様 "	田村 恭子様・将樹様
吉村 智恵様	近藤 宣之様 "	菅原 康夫様・綾大様
小林 一様	平野 拓夫様 "	千葉 さく子様
永井 哲治様	(株)モリショウカイ "	鶴原 るり子様
玉置 晴彦様	近藤 恭司様 "	ITC日本リージョン会長様
平野 ユキ子様	山本 仁美様	スペシャルオリンピックス日本様
吉田 等明様	和田 陽子様	スペシャルオリンピックス日本・岡山様
吉成 重雄様	岡村 房子様	
丸 志伸様	萱間 隆夫様	

(順不同)

皆様との出会いに心から感謝いたします。心温まるご支援、ご協賛を賜りました団体及び個人の皆様には厚く御礼申し上げます。これからも何卒よろしく願いいたします。

* ニュースレターの印刷は富士ゼロックス岩手(株)のご協力を頂きました。